

NO	立場	ジレンマ	YES 人数	NO 人数	生徒の考え
1	川沿いの家の住民	深夜2時、豪雨で避難勧告発令 避難するか	4 + 4		・少しでも早いほうが安全。危険だから勧告が出る。
2	父 (上司)	会社で地震にあう 交通も麻痺 部下への対応か、帰宅して家族の安否か	1 + 2	1 + 1	・暗く状況もわからないので余計危険なのでしばらく待つ。 ・責任ある役職。すぐ帰ると理解ある家族なら逆に叱られる。
3	被災者	心身ともに喪失状態 見舞いに來た同級生から、仲間ができ心の支えになるからと宗教への勧誘。誘いにのるか	0 + 0	4 + 3	・家族のほうが大切。部下は大人である。
4	被災者	避難所で、自分の3日分の水と食料しか持っていない。 開けるか。	0 + 3	5 + 5	・精神が不安定なので、危ないところについて行かない。 のんきなことを言ってもらえない。
5	夫婦	避難所で、自分の3日分の水と食料しか持っていない。 開けるか。	0 + 3	5 + 2	・何人かに分ける。腐ったら困る。持っていない人が悪い。
6	受験生	避難所で周りの人が一生懸命ボランティアをしている。 でも受験が間近。手伝わなくて受験勉強に打ち込むか。	5 + 4	0 + 1	・余裕はないので陰で食べる。周りに申し訳ないのでみんなと同じように我慢する。
7	市民	避難所に、家族同様に暮らしてきた犬(ゴールデンレトリバー)を連れて行くか。	2 + 4	3 + 1	・安全第一。死ぬよりまし。見かけはカバーできるが、命はカバーできない。なるべく目立たないようにつける。
8	市民	ボランティアをしていただいている人たちにかかるボランティア保険は、自治体負担すべきか個人負担してもらうべきか。	2 + 4	3 + 1	・新しいお気に入りの家具に傷をつけたくない。
9	被災者	祖母の体調が悪い。自宅なら電気はつくようになった。 避難所なら医者がある。自宅に帰るか。	4 + 5	1 + 0	・合格したいなら、勉強を選択すべき。受験は人生の中で大きな進路決定。仕事は他にも頼める人がいる。
10	市民	飛ぶような売れ行きの商品の在庫ができた。困っているときはお互い様と、社長からただで提供するように言われた。ただで提供するか。	0 + 0	5 + 5	・みんなが苦しんでいるので協力すべき。大変なときに勉強どころではないだろ。
			4 + 2	1 + 3	・犬も家族なので見捨てることはできない。命は大切にしなければならぬ。放っておけば死んでしまう。
					・犬嫌いの人もいる。別の安全な場所においておく。
					・ボランティアは利益を目的としない活動なので、保険まで負担はかけられない。
					・困ったときはお互い様。
					・何があるかわからないので、医者の方が心強い。家族の体の方が大切。良くなったら戻る。
					・上司の命令に従う。自分ばかり得は良くない。会社のイメージアップで社会の信頼が得られる。
					・他に買ってくれる人がいるので、そこに売る。会社が倒産する。